

利上げ幅を拡大したイングランド銀行 ガス価格急騰によるインフレ圧力の高まりが背景に

2022年8月5日

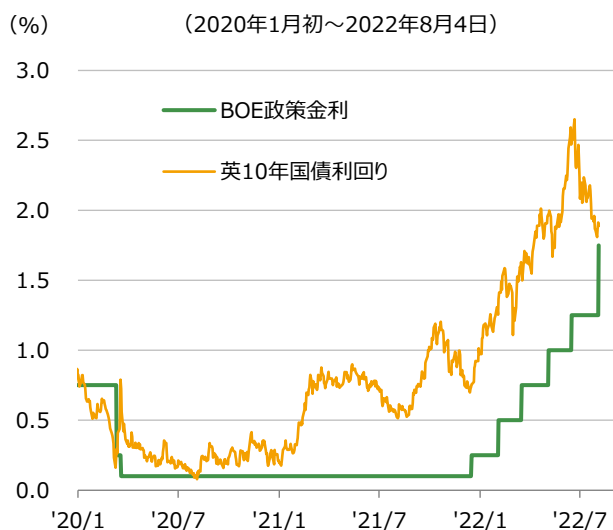
景気後退入りとインフレ低減に伴う利上げ停止を市場は予想か

BOE（イングランド銀行）は4日、政策金利を1.25%から1.75%へ引き上げました。4会合連続の0.25%ポイントの利上げ後、利上げ幅を0.5%ポイントに拡大しました。5月以降、ガス価格急騰を主因にインフレ圧力が著しく高まっているとしており、それが利上げ幅拡大の理由と見られます。労働市場も予想以上にひっ迫していると指摘しています。6月会合ではCPI（消費者物価指数）の前年比が10月に11%をやや上回ると見込んでいましたが、8月会合では10-12月期に13%強まで上昇する見通しとしました。

ただ、BOEはインフレにより英国の経済見通しが大きく悪化しているとし、今年10-12月期から来年10-12月期まで景気後退が続くと予想しました。実質所得の急減で個人消費が減少に転じると見えています。また、需給緩和によるインフレ圧力後退でCPI前年比は2年先に目標の2%まで下がると予想しています。目先はインフレ対応に動く一方で、将来的には景気後退とインフレ低下を見込んでいるわけです。

BOEは「政策は予め設定された道筋にはない」「各会合で適切な政策金利の水準を検討」「持続的なインフレ圧力の兆候に注意し、必要なら力強く行動」としており、今後の政策はインフレ見通しに左右されそうです（保有国債の売却は9月会合後に始める方針）。市場では0.5%ポイントの利上げとの見方が多かったなか、今回の政策発表直後は英金利低下とポンド安に反応しました。英国経済が景気後退入りしてインフレ圧力が低減するとともに、BOEが早期に利上げを停止する可能性を織り込む動きと思われる。

BOE政策金利と英長期金利



(出所) リフィニティブより大和アセット作成

英長期金利とポンド円



(出所) リフィニティブより大和アセット作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

大和アセットマネジメント

Daiva Asset Management